

「阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト」 第3回助成・事業実施報告書

1. 基本事項

団 体 名	特定非営利活動法人 NGO GOODEARTH		
事 業 名 称	お米でつながる助け合いのコミュニティ、通称「米ニティ」	助成額	50万円
申請事業の概要	農家さんからお米を買い取り、子育て世帯に無償または原価以下で販売する事業 お米でつながる助け合いのコミュニティとして米ニティと名付けられた		
申請事業の目的	貧困問題解決のため、食べることに困る子どもたちをゼロにするために活動しています。		
関連するSDGs目標	1.貧困をなくそう 2.飢餓をゼロに 3.すべての人に健康と福祉を		

2. 助成事業の実績・成果等について

2024年、お米をお届けした子育て世帯は、1年間で1846件（1289世帯）でした。

お米の供給総量は18,460kgとなりました。

農家さんからの仕入れが難しい状況だったため、前回報告時と同様、お米の間屋さんから仕入れを行いました。

スーパーで米売り場の商品が無くなった8月には、利用して下さった方の口コミで過去最多583件ものオーダーが入り、米ニティの認知度が一気に高まりました。

お米の価格高騰が続き、たくさんの子育て世帯からこの活動が必要とされている声（商品レビュー）が届いています。

年間レビュー数382件の内の一部を抜粋して紹介いたします。

「◎この度は美味しいお米を破格で購入させてくださり、誠にありがとうございます。

食べることは生きること。

子どもには空腹で我慢させる思いはさせたくない。

そんな苦しみを救ってくださり支援くださるみなさまに、心から感謝申し上げます。」

「◎9才、6才、5才、2才、2才の5人の母ですがお米の消費が凄く毎月15～20キロのお米消費してるので本当に凄く助かります！！ありがとうございます！！！」

「◎9歳の子供がいます、初めて注文しました！

箱のイラスト、中のお手紙にたくさんのお愛が溢れていて、涙が出ました。

色々な物価が高くなる中、食事のベースとなるお米を

手に入れやすいお値段で譲ってくださり、ありがとうございます！

グッドアース米ニティを知り、実際に利用させて頂いて

たくさんの方に支えられて生活できていると感じ、本当に感謝しております。

家族を大切にしながら仕事を頑張り

私も他の方へお役に立てるよう、良い循環ができるよう、日々精進しようと思います。」

3. 課題分析や今後の発展性

米ニティ事業が子育て世帯から引き続き必要とされていることは、再入荷リクエストの件数からも伺えます。
(2025年1月1日～1月30日までの再入荷リクエストは184件)

今後の課題は、収益性の向上。

原価以下での販売のため、寄付だけでは事業の継続が難しく、米ニティ事業を続けるのが厳しくなっています。
支援者様からの寄付に頼らず、企業からの応援や、助成金を活用しながら米ニティ事業を継続していきたいです。
そのために米ニティ事業に賛同して下さる方を一人でも増やせるよう SNS などで引き続き広報に努めます。

4. 代表者又は担当者からのひとこと

引き続き、問題の提起や活動の周知を図り、貧困問題の解決に向けて活動を続けてまいります。

2025年度は事業の継続を第一に考え、

賛同して下さる支援者や企業を増やし、毎月安定した数の供給を目指します。

(月50世帯×12カ月) 寄付額や支援金に応じて増やしていく所存です。

また、農家さんと提携し、米作りから関わらせていただき「作り手」と「買い手」を更に繋がられるコミュニティを構築していきます。